

この病院の看板

診療科

整形外科

寝たきりになる原因として、近年、急増しているのが転倒などによる高齢者の骨折だ。

第1位は脳卒中、次が認知症、衰弱続き。骨折は第4位。10人に1人のお年寄りが骨折をきっかけに要介護状態に陥るというから衝撃的だ。

では、高齢者が骨折したらもう諦めるしかないのかどうぞ、そうではない。

「当院では『当日手術』などで骨折を速やかに治療し、それまでと変わらない生活を送つてもらうため、24時間×365日、万全の態勢を整えています」

笑顔でこう語るのは、国内2位の骨折治療数（1200件以上）、一人のチーフ、山崎謙副院長だ。

「寝たきりになる骨折



搬送されてきたその日に骨折の当日手術を実施

高齢者の患者は糖尿などの確認に手間取る。心臓病など複数の病気を抱えている人も多い。既往症、常用している薬、手術に耐えられる体力があるか。

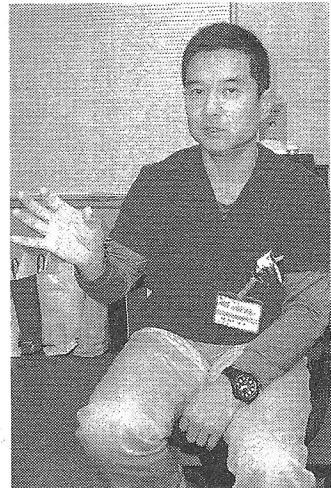
「まず、患者の肉体的これが一つ目の理由で病気を抱えている人にも手術が行われる場合に、早くても翌日以降負担を軽くするため、す」

全病床数2のうち、約3分の1にあたる90床以上を占める。救急搬送の受け入れ台数は年間6000件以上。

「骨接合術ならば

IMSグループ
東戸塚記念病院（神奈川県横浜市）
山崎 謙副院長

高齢者の寝たきりを防ぐため



生じるのは認知症などの患者さんも同じです。穏やかに過ごしてもらうためにも、骨折の治療は不可欠なのです」

「骨折でひどい痛みが

の患者さんも同じです。穏やかに過ごしてもらうためにも、骨折の治療は不可欠なのです」

「骨折でひどい痛みが

のうちもっとも多いのが、太ももの骨の付け根のところが折れる大腿近位部骨折です」

この骨折は、①大腿骨近位部骨折です。前者は人工骨頭に置き術で治すことが多い。

「重要なのは骨折後、骨折で寝かせたままにしていると、足の筋肉をはじめ全

身の筋肉が時々刻々痩せ衰え、筋力の急速な回復が不可欠」と記されています。

一方、日本の現状は、「もう一つは患者さん

の全身状態を把握し、

手術中のリスク管理を

行う当院の麻酔科医師

外科チームなのだ。

うれしいのは認知症

患者でも積極的に受け入れていること。

手術室のリスク管理を

行う」と言わざるを得ないと言わざるを得ない。

られます」

「その結果、手術翌日から歩行できる患者さんがほとんどで、要介護状態に陥るのを避けられるのです」

「骨折でひどい痛みが

生じるのは認知症などの患者さんも同じです。穏やかに過ごしてもらうためにも、骨折

の治療は不可欠なのです」

「骨折でひどい痛みが